

# 普及センターだより

## 土 浦



平成29年8月1日 No. 43  
茨城県県南農林事務所 経営・普及部門  
(土浦地域農業改良普及センター)  
土浦合同庁舎第2分庁舎3F  
土浦市真鍋5-17-26  
電話 029-822-7242  
FAX 029-822-7370  
URL <http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nannourin/keiei/tsuchiura/index.html>

## 平成29年度農業学園開講！



意見交換会（上下）

大塚経営士による講話

県南農林事務所経営・普及部門（土浦地域農業改良普及センター）では、新規就農者を対象に農業に関する基礎知識等を学ぶ「農業学園」を開催しています。

六月十三日（火）に土浦合同庁舎で開講式を実施しました。開講式には、大塚雄一農業経営士、小松崎友二青年農業士をお招きし、先輩農業者としてのアドバイスをいただきました。また、意見交換会では、参加された学園生がそれぞれの思いや悩みを打ち明け、熱心な意見交換となりました。

今後、農業学園の講座として、土づくりや病虫害対策といった農業に関する基礎講座から、レンコン講座や農業簿記講座など専門講座を開講します。また、座学のみでなく、農業資材展の見学等の視察研修も予定しています。

さらに、県南地域の各普及センターと合同で広域講座を開催し、各地域の農業の特色を学ぶとともに、他地域の受講生と交流を深める機会もあります。今年度は、レンコン、ネギ、農業機械に関する講座を予定していますので、是非ご利用ください。

新しい事を始める時は、不安や心配事が多いと思いますが、仲間を作り共に乗り越えてみてはいかがでしょうか。

農業学園は新規就農者にとって学びの場であるとともに、仲間作りの場でもあります。是非、農業学園にお越しください。皆様の参加を心よりお待ちしております。

**営農**  
トビックス  
**イネ縞葉枯病が  
増えています！**

県西地域を中心に、イネ縞葉枯病の発生が多くなっています。県南地域でも、昨年に比べると発生が増えていますので、まだ発生が少ないうちに防除対策を行い、イネ縞葉枯病の被害の拡大を食い止める必要があります。

イネ縞葉枯病は、イネ縞葉枯ウイルスを持ったヒメトビウンカ（写真1）がイネを吸汁することにより感染するウイルス病です。ヒメトビウンカがイネ縞葉枯病の発病株を吸汁すると、ウイルスを獲得し、他のイネに感染させます。

イネ縞葉枯ウイルスに感染すると、葉に淡黄色の縦縞ができ、穂が出すくんだり（写真2）、出穂しても不稔になって減収します。イネ縞葉枯ウイルスに感染してしまふと、治療する方法はありません。対策は、媒介虫であるヒメトビウンカを防除して感染の機会を減らす必要があります。

今後の防除対策としては、発病株から発生するひこばえをヒメトビウンカが吸汁すると、ウイルスを獲得してしまうので、**収穫後は早めに水田を耕起し、ひこばえの発生を防止**

します。

来年の育苗時の対策としては、ヒメトビウンカを対象に、薬効が長期持続する育苗箱施薬剤で防除します。



写真1  
ヒメトビウンカ

写真2  
穂の出すくみ

**営農**  
トビックス  
**レンコンに対する  
ハスモンヨトウの  
被害と対策**

ハスモンヨトウは雑食性の害虫で、夏の高温・乾燥条件において発生します。夏でも定期的な降雨がある年においては大きな問題となることは少ないですが、気象条件によっては発生し易くなり、特に猛暑・寡雨の年には大発生します。

ハスモンヨトウの被害は主に、幼虫による葉の食害です（写真1）。幼虫は最初、集団で葉を食害し、ある程度大きくなると（中齢以降）周辺の葉やほ場へ分散していきます。

特に、谷津田では発生が多い傾向にあります。

幼虫により葉がひどく食害を受けると、光合成ができなくなり、同化産物の生成も阻害されることから、その後の生育不良や、レンコンの肥大不良の原因となります。夏場の生育はその年のレンコンの収量性に直結するため、注意が必要です。

ハスモンヨトウの防除は、発生初期の薬剤散布もしくはフェロモントラップによって行います。

薬剤は幼虫が小さいとき（若齢幼虫）に効果を示しますが、中齢以降は効果が極端に低下するので注意が必要です。また、フェロモントラップは、対象となる地域に広範囲（10ha以上）で設置する必要があります。成虫密度の低い発生初期（七月中旬頃）から、高さ1・5m程度に1ha当たり2〜4台、フェロモン剤を入れた捕虫器を設置することで、設置していない地域と比較して葉の被害を半減させることができます。



写真1  
ハスモンヨトウの被害葉



**土浦市 田植えによる農村都市交流**

土浦市小野地区で、六月十日（土）に第一回田植え体験会ワークショップを、土浦市ブランドアッププロジェクト事業の一環として開催しました。当日は、好天に恵まれ、都市在住者や外国人の方を含む五十名の方が参加しました。地元農業者から苗の持ち方や植え方、田んぼの歩き方などを教えて頂きながら、田植えに挑戦しました。普段体験したことのない田んぼの感触とカエルの声を聞きながら、一株一株丁寧に午前中で植え終えることができました。

お昼には参加者みんなで、格別な味のおにぎりを、たくさんほおぼることができ、田植え作業を通じて、参加者は毎日食べているお米の有り難さや大切さが実感でき、土浦の農業を考える良い機会として、楽しい一日となりました。

**かすみがうら市**

ブルーベリー目揃い会開催  
かすみがうら市は県内有数の果樹産地です。

六月五日、かすみがうら市深谷のJA土浦霞ヶ浦中央集荷場で、かすみがうら市新作物推進協議会（郡司

**営農**  
トビックス  
茨城県育成の  
ナシ新品種「恵水」  
(けいすい)について

「恵水」は、茨城県が育成したナシの新品種です。「新雪」に「筑水」を交配した実生から選抜し、平成二三年に品種登録されました。

品種の主な特徴は次のとおりです。▼九月上旬から下旬収穫(「豊水」、「あきづき」と重なる)。▼大玉で多収性。▼平均糖度は一三%以上で甘みが強く、酸味が少ない。

苗木販売が開始された平成二五年から二八年までの、県内の苗木導入本数は、三、六三五本で、うち土浦地域農業改良普及センター管内分は、八一四本となっています。早い段階で導入され、生育良好な「恵水」は、今年から少しずつ着果が可能になると思われます。

収穫は、以下を目安に開始しましょう。▼収穫始期は、満開後日数一三五日から一四〇日頃から。▼適熟時の表面色の目安は、果実表面の緑色が退色し、黄赤褐色の占める割合が七〇%以上となった状態で、ていあ部にやや緑色が残っている状態(写真一)。

これまでの試験の結果から、「恵水」は、大玉果実で糖度が安定して

高く、食感も優れる傾向があることがわかっています。

栽培マニュアルに沿った高品質果実の出荷により、消費者、実需者の評価を高め、「恵水」が生産者の皆様にとって経営的に有利な品種になるよう、産地一丸となって、育ていきたいと思います。

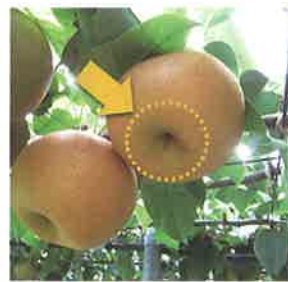


写真1  
ていあ部にやや緑色が残る状態

**営農**  
トビックス  
県育成オリジナルコギク  
「常陸シリーズ」  
新品種の紹介

茨城県のコギクは、栽培面積で全国二位、生産額で全国四位を占める重要な花き品目となっています。

出荷の中心は七月新盆、八月旧盆、九月彼岸の物日で、県では需要期に出荷できるオリジナル品種の育成に取り組んでいます。県オリジナル品種は現在十二品種が販売されていますが、今年の秋には新たに二品種が発売予定となっていますので、その特徴を紹介いたします。

●「常陸オータムゆうひ」(仮称)

「常陸オータムゆうひ」(仮称)は九月彼岸出荷向けの赤色系品種で、花色は赤紫色、開花時期は九月上旬から九月下旬であり、九月彼岸の出荷に適しています。切花長が長く、頂点咲きで花蕾数が多いためボリュームがあります。下枝の発生が多い傾向があります。



●「ひたち23号」(仮称)

「ひたち23号」(仮称)は八月旧盆出荷向けの黄色品種で、花色は黄色、開花時期は七月下旬から八月上旬であり、八月旧盆の出荷に適しています。頂花はやや下がる傾向があります。葉色が濃くて艶があり、現地では白さび病の発生が少ないとの評価を得ています。



県オリジナル品種は毎年八月頃に親株受注が開始され、株のお届けは十月頃を予定しています。数に限りがありますので、お早めに申し込みください。

会長)並びにJA土浦主催によるブルーベリー目揃い会が開催され、会員約二十名が参加しました。

ブルーベリーは、六月上旬から出荷され、市場向けの一〇〇gパック八個入の箱出荷については、規格に基づき厳選出荷をすることを確認しました。市場担当者からは、「需要は伸びているので、色廻りのよいものを、たくさん出荷して欲しい」との要望がありました。郡司会長は「女性や子供達だけでなく、男性の消費拡大も重要な戦略」と述べ、今年の出荷に自信をのぞかせていました。

石岡市

石岡市ありのみ協議会発足

ブランドナシ「ありのみ」を販売  
石岡市は、JA新ひたち野、JAやさと、筑波大学、普及センターと連携し、ナシ等の高品質果実の生産・販売に取り組んでいます(いしおかフルーツプロジェクト)。

今年度は、ナシ部門が発展し、協議会を設立しました。ナシ生産者二五名の有志が、樹を限定し、厳しい栽培基準と糖度等品質基準をクリアした特選果実を、「ありのみ」として販売します。「ありのみ(幸水)」は、八月中下旬からの販売予定です。





今年度、新たに以下の皆さんが農業三士として茨城県知事の認定を受けました。

**農業経営士**

◆果樹 かすみがうら市 市川 浩文氏



ナシを中心とした果樹経営で、減農薬・減化学肥料による環境に配慮した栽培を実践されています。

生産組織活動やかすみがうら市農業再生協議会において、積極的に活動されています。

**女性農業士**

◆露地野菜 かすみがうら市 藤井 圭子氏



レンコン専作経営で、計画的な作付けと出荷により経営の安定化を図っています。フレッシュミズ

に参加し、レンコンの消費拡大に向けた消費宣伝等、積極的に活動されています。

◆露地野菜 かすみがうら市 野口 裕美氏



レンコンの専作経営で、法人経営により雇用を導入した大規模な生産を行っています。経営向上を目指し、幅広い分野の学習会に参加され、レンコンの消費宣伝活動に積極的に取り組まれています。

**青年農業士**

◆花き十施設野菜 土浦市 栗原 正明氏



ヤナギ類の周年出荷と施設イチゴとの複合経営により経営の安定化を図っています。JA土浦青年部はばたく会の会長を務め、地域のリーダーとして今後の活躍が期待されます。

**\*ありがとうございます\***  
以下の皆さんが退任されました。長年にわたりご尽力いただき、ありがとうございました。

**女性農業士**  
土浦市 栗原 敦子氏  
かすみがうら市 田所 國子氏

**青年農業士**  
かすみがうら市 齊藤 豊広氏  
かすみがうら市 塚本 和美氏

**いばらき農業アカデミー開講**

茨城県では本年度より、農業経営者から中核的な農業者、新規就農者等を対象として、本県が持つ恵まれた教育、研修、研究環境を活かし、農業経営者育成講座や先進農業技術講座などの幅広い学びの場を設定し、産地を支える経営感覚に優れた経営体を育成するため「いばらき農業アカデミー」を開講しました。

- 主な講座**
- ・リーダー農業経営者育成講座
  - ・生産環境管理(病害虫)講座
  - ・法人化促進講座
  - ・農業機械基礎研修
  - ・先進農業技術講座
  - ・農業女子の農業機械講座
  - ・生産環境管理(土壌)講座
  - ・農業体験講座半年コース

幅広い講座を実施して参りますので、ぜひ活用ください。

詳しい講座内容や申込方法は普及センターまたは以下のホームページをご参照ください。  
<http://www.agriacademy.pref.ibaraki.jp/>

**平成30年度 茨城県立農業大学校入学生募集**

農業の実践力を養います。大学への編入資格も得られます。

**【教育目標】**

- (1) 農業に関し幅広い視野と高度な経営能力を有し、農業振興に貢献する経営感覚に優れた農業者等の養成を目指す。
- (2) 高度で専門的な技術と経営能力を取得させるとともに、喜びと感動、自信と責任感を持たせ、自立と協調の精神をかん養する教育を目指す。

| 入学定員  |       |      |                                    |      |             |
|-------|-------|------|------------------------------------|------|-------------|
| 学 科   | 科 名   | 入学定員 | 主な対象                               | 修業年限 | 専攻コース       |
| 学 科   | 農 学 科 | 40名  | 高等学校等を卒業した者又は平成30年3月に卒業若しくは修了見込みの者 | 2年   | 普通作・露地野菜・果樹 |
|       | 畜産学科  | 10名  |                                    | 2年   | 畜産          |
|       | 園芸学科  | 30名  |                                    | 2年   | 施設野菜・花き     |
| 研 究 科 |       | 10名  | 農業大学校卒又は短期大学等卒以上若しくは卒業見込みの者        | 2年   | 作物・園芸・畜産    |

| 願書受付期間・入学試験日等 |                                 |
|---------------|---------------------------------|
| ◆推薦入試         | 各学科定員の60%程度                     |
| 募集人員          | 平成29年10月2日(月)～平成29年10月20日(金)    |
| 願書受付期間        | 平成29年11月1日(水)                   |
| 試験日           | 小論文・口述試験(個別面接)・調査書等             |
| 選 抜 方 法       | ◆一般入試(学科)                       |
| 募集人員          | 各学科定員の40%程度(前期・後期の割合は概ね3:1とします) |
| 願書受付期間        | 前期:平成29年11月13日(月)～平成29年12月8日(金) |
| 試験日           | 後期:平成30年2月5日(月)～平成30年2月23日(金)   |
| 選 抜 方 法       | 前期:平成29年12月14日(木)               |
|               | 後期:平成30年3月2日(金)                 |
|               | 筆記試験・口述試験(個別面接)・調査書等            |
| 研 究 科         | 願書受付期間                          |
|               | 平成29年11月13日(月)～平成29年12月8日(金)    |
|               | 試験日                             |
|               | 平成29年12月14日(木)                  |
|               | 選 抜 方 法                         |
|               | 筆記試験・口述試験(個別面接)・調査書等            |

◎詳しくは入試事務局にお問い合わせください。  
■問い合わせ先 〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡 4070-186  
《入試事務局》 TEL 029-292-0010  
■農大ホームページ 農業総合センター農業大学校/茨城県